

# ノロウイルス感染を予防する消毒方法

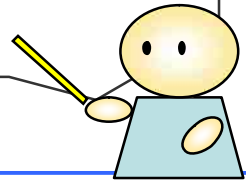
## ～おう吐物処理・家庭編～

感染者のおう吐物や便には多量のノロウイルスが含まれています。  
正しい処理方法で感染の拡大を防ぎましょう！

### おう吐物や便の中には多量のノロウイルスが・・・



便やおう吐物には1g中に100万～10億個ものノロウイルスが含まれています。



### 素手で処理しちゃダメ！

ノロウイルスが手についてしまいます！



### きちんと消毒！

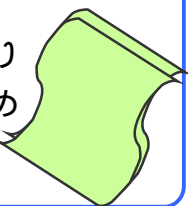
おう吐物で汚れた床や衣類、処理に使用した雑巾などは水洗いだけではいけません。  
残ったウイルスは、乾燥すると空气中を漂い、口に入って感染する恐れがあります。



### おう吐物の処理～準備するもの～

使い捨てタオル、ティッシュ、新聞紙

おう吐物の拭き取りに使用します。多めに用意しましょう。



マスク

おう吐物の微粒子を吸い込まないように使用しましょう。

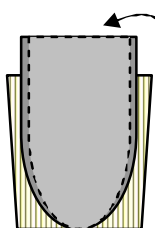


手袋

使い捨て手袋を使用しましょう。



ビニール袋（液漏れしないもの）  
おう吐物の処理に使用します。



ごみ箱などにビニール袋を2枚重ねて入れ、口を広げておくと使いやすいです。

ごみ箱

家庭用塩素系漂白剤  
次亜塩素酸ナトリウム（ブリーチ・ハイターなど）  
おう吐物で汚れた床、衣類の消毒に使用します。



エプロン

大きなビニール袋で使い捨てのエプロンを作ると便利です。（作り方は付録にあります。）

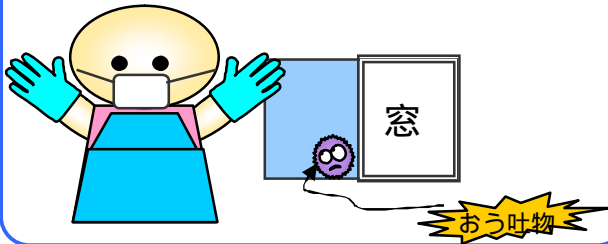
石けん

手指の洗浄に使用します。

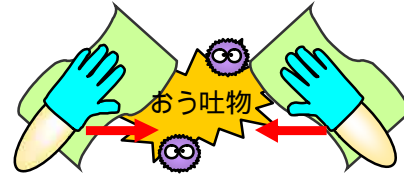


## おう吐物の処理～作業手順～

処理を始める前に手袋、マスクなどをします。換気のために窓を開けます。



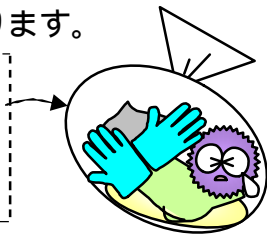
おう吐物を使い捨ての布、ペーパータオルなどで静かに拭き取ります。



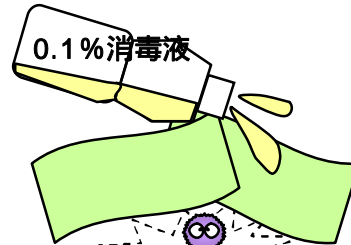
汚れた面でこすると汚染が広がるので注意しましょう。

使用した布やペーパータオル、手袋などを内側のビニール袋に入れ、袋の口をしっかりと縛ります。

あらかじめ消毒液を袋の中に入れておきます。作り方は「消毒薬の作り方・家庭編」参照



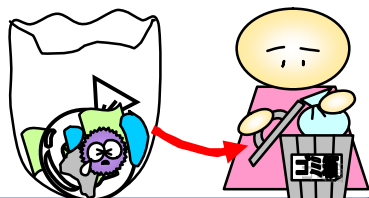
汚れた場所をペーパータオルで覆い、その上から十分に消毒液をかけます。10分後、水拭きします。



汚れた場所に直接消毒液をかけてペーパータオルで覆うか、ペーパータオルを消毒液に浸してから覆ってもOK

おう吐物で汚れた場所

汚物が入った袋、使い捨て手袋、使い捨てエプロンなどをビニール袋に入れ、口をしっかりと縛り、廃棄します。

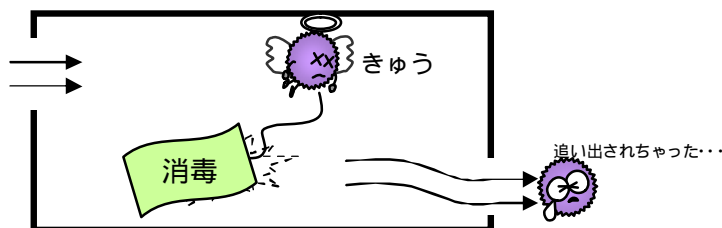


処理が終わったら、丁寧に手を洗い、うがいをしましょう。



## 換気を行ないウイルスを外へ出しましょう

空気の流れをスムーズにするために、対角線上に2箇所以上空気の出入り口を作りましょう。



## 使用上の注意

塩素系漂白剤は

- ・子どもの手の届かないところに保管しましょう。
- ・目に入らないように注意
- ・誤って飲まないように注意
- ・原液が衣類や皮膚につかないよう注意
- ・金属を腐食します。使用したあとは水拭きしましょう。

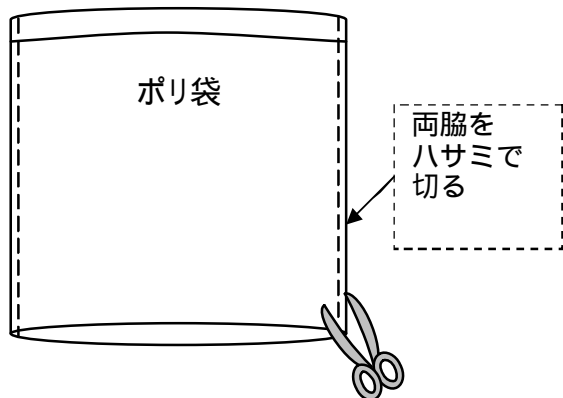
## 付録～使い捨てエプロンの作り方～

### ～準備するもの～

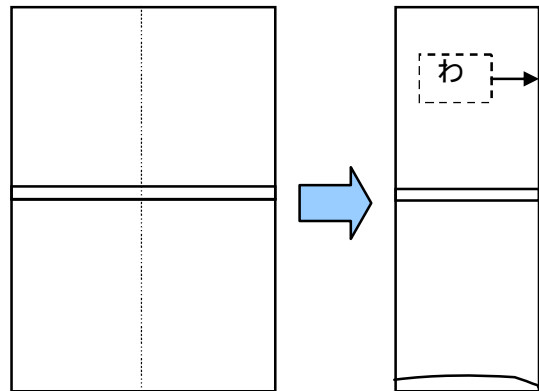
- ・ 70<sup>リットル</sup>のポリ袋 (800 × 900 mm)
- ・ ハサミ

### ～作り方～

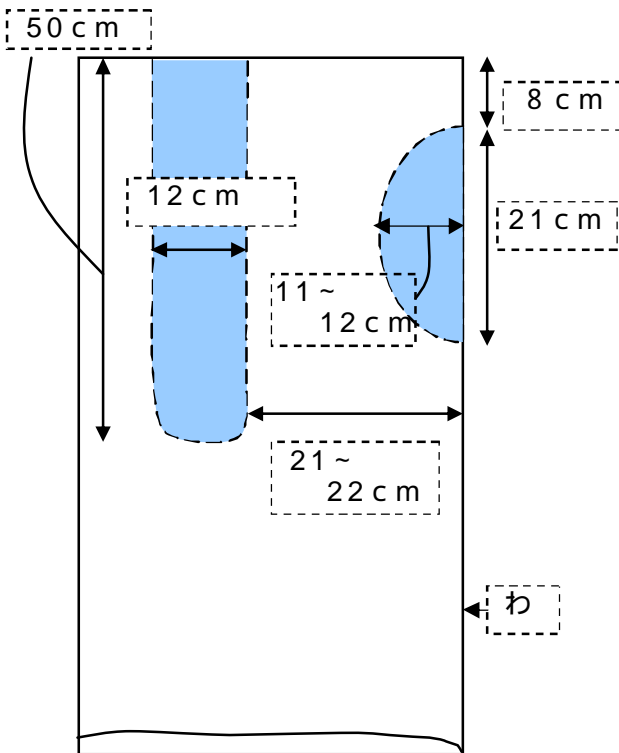
ポリ袋の両脇をハサミで切る。



開いて、縦に2つに折る。



点線部分をハサミで切る。



出来上がり！

